

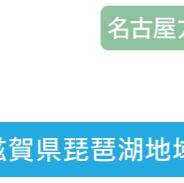
～農業遺産の魅力あふれる3つの地域の紹介～



持続可能な水田農業を支える
「大崎耕土」の伝統的水管理システム

宮城県大崎地域

大崎地域は、冷害や洪水等の自然災害に適応した巧みな水管理や、水田の中に浮かぶ森のような屋敷林「居久根(いぐね)」に多様な動植物が生きる豊かな湿地生態系が残されており、独特のランドスケープを形成しています。マガムのねぐら入り等、渡り鳥の幻想的な風景や、酒や味噌、醤油作りなど歴史的な発酵食文化にも触れられます。ぜひ、東北の水田農業地帯ならではの景観や文化、自然を体験してみませんか。



サステナブル・ツーリズム 農業遺産を旅しよう

【宮城県大崎地域・静岡県わさび栽培地域・滋賀県琵琶湖地域】



農林水産省

農業遺産とは。

農業遺産として認定された地域では、概ね100年以上もの間、脈々と受け継がれてきた伝統的な方法で農業・林業・漁業が営まれています。これらの伝統的な農林水産業は、地域の気候、地形、歴史的背景などに育まれて形成されたもので、そこにしかない、地域固有の食文化や風土・景観を生み出しています。

農業遺産に認定された農林水産業は、自然資源(土壤や森林、水産の資源)を枯渇させない資源循環システムを有しており、環境負荷が少ないため、日本固有の生き物を含む生物多様性の保全にも貢献しています。農業遺産は、社会や自然の変化に適応しながら進化を続けています。

農業遺産には、国連食糧農業機関(FAO)が認定する世界農業遺産と、農林水産大臣が認定する日本農業遺産があります。

国内には、世界農業遺産●が5地域、

日本農業遺産●が24地域あります。

【両方に認定されている地域●】

(令和5年9月末時点)

